

平成30年度 自己評価結果と学校関係者評価（保育園）

〔評価結果の表示方法〕

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが、成果が十分でない

D 取り組みが不十分である

評価項目	A	B	C	D	計	理由
1 ◎育児担当制を通して個々の育ちを把握し、それに 応じた援助ができたか ・担当制を通して愛着を形成し、情緒の安定を図る ・日課をたてて毎日繰り返すことで、子ども自身が 日課に参加し、見通しを持って生活するようになる。 ・1人1人の成長に応じて丁寧に生活習慣の援助を 行う。	1	6	0	0	7	・子ども一人ひとりに応じた援助ができた ・3クラスの日課の流れやクラスの様子をリーダー会 議や会議で話し合う機会が持てたが充分ではな かった ・日課の基本的な流れを変えなかったことで子ども が見通しを持って生活することができ、自ら日課参 加し行動する姿が見られた

学校関係者の意見

- ・育児担当制を用いる事で、こども1人1人に深く関わってくださったと思います。担当の先生にはより懐き、より甘えられる環境を作っていただけたのはとても良かったように感じます。ビデを参観でも感じましたが、日々の取り組み（食事・トイレ・お着替え等）にも「自分でやる」事にじっくりと付き合ってくださいっていて、毎日時間をかけて丁寧に関わることができない保護者からすると、担当制を導入して下さっている事はとても有難かったです。また、その日のこどものコンディションに合わせて関わり方を変える等、こども1人1人に合わせた対応をして下さっていたのも保護者からすると安心してお任せできる要因となっていましたし、何よりも先生方の愛情を感じる事ができました。1年間担当制をしていただいた結果、子ども達が担当の先生に対しては安心・信頼をして、より懐いているように見えました。
- また、クラスを超えて先生方がどのこども達に対しても、大切に愛情をもって接して下さっていた事も本当に有難かったです。フリーの先生をはじめ、朝や夕方先生方にもたくさんの愛情を注いでいただいたおかげで心身ともに健康に過ごせた1年間だったと実感しています。
- ・先生方にはクラス担当を超えてきめ細やかに子ども達を見ていただいたと思います。
- ・育児担当制が、上の時と違うので最初は戸惑った。みんなが同じ様な発達段階をたどったり、月齢が低い子でもみんなと合わせて出来るようになることも良いことだと思っていたが、育児担当制の先生方の関わり方を通して、発達段階に合わせて子どもを導いてくれたり、お友達を見て出来るようになったり、大きな枠組みでは一緒なのだ気が付いた。育児担当制の方がより密接で愛着形成しやすく、親自身も先生を信頼し安心して預けられる。
- ・子ども達が安心して生活が出来るように考えて下さっているのがとてもよく伝わってきました。また、安全面にも配慮されていて、補助の先生方も含めて事故が無いように先生方の配置、人員とともに十分な程でした。発達や子育てに関する知識も豊富で親へのサポートまでしていただき感謝しかありません。ありがとうございました。

評価項目		A	B	C	D	計	理由
2	◎乳児の発達に応じた環境作りができたか ・玩具リストを作成し、0～2歳児のどの時期にどの玩具が適しているのかを明確化する。 ・季節や育ちに応じて、定期的に環境を考える。 ・子どもの育ちや発見などを観察し、それに適した環境を保育者同士で話し合い、用意する。	1	3	3	0	7	・子どもの発達に応じて玩具を用意し、環境作りを考えることはできていたが玩具リストや環境配置の図面化は取り組みが難しかった ・写真を利用しての季節感の取り入れなどの工夫はできた ・手作り玩具は増やせたが保育者間で玩具について話し合い、共通理解を持ち、環境作りにかさずべきだった

学校関係者の意見

- ・月齢に合った玩具を用意してくださっていたと思いますが、なかなか保護者が玩具そのものを見る機会がなかったのもう少し「見える・触れる」ようにしていただけたら、もっと理解しやすかったのではないかなと感じました。
- ・手作り玩具は愛情を感じる。子どもそれぞれが興味を示すものも違うので難しい時折、部屋の配置を変える工夫など子ども達にとっては刺激的で良いなと思った。

評価項目		A	B	C	D	計	理由
3	◎わらべうた・運動遊びを習慣化する ・計画を立てて定期的に取り組むようにする ・発達や体力向上を意識した取り組みをする	1	3	3	0	7	・運動遊びは充分取り入れることができたが、わらべうたをもう少し習慣にして行くべきだった ・ふれあいあそびは意識して取り入れスキンシップに役立てた。 ・戸外遊びの環境作りでは、体育講師のアドバイスのもと発達に応じた環境を意図的に作ることができた

学校関係者の意見

- ・わらべうたに関しては、あまり保護者までは届いていなかったように思います。2歳児クラスになれば、子ども達から「こんな歌だった」と直接聞く事も増えると思いますので、来年度に期待です。
- ・外遊びや散歩を積極的にしてくださっていたのが有難かったです。
 体育指導の先生がついてくださっているため、安全のもと身体の動かし方を乳幼児から身に付けられるのは良いかと思えます。雨の日でも、午睡室で遊べる工夫をしてくださっていたのも良かったです。
- ・リズム体操など楽しんで運動に取り組んでくださり、子ども達も楽しみにしていました。
- ・戸外遊びは季節を意識したり自然を感じさせる工夫があり、すばらしい。わらべうたは家で歌うと喜ぶが、親自身があまり知らないので導入しにくい。絵本は家でも取り組みしやすく子どももよく内容を覚えている。

評価項目		A	B	C	D	計	理由
4	<p>◎保護者に伝わる発信が積極的にできたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に伝わる発信を積極的かつ専門的に行うようにしていく。 ・この活動(遊び)によって何が育つかなどを伝える。 ・保育士一人ひとりが子どもの成長発達過程を頭に入れ、それを意識した伝え方を心がける。 (ただの出来事の報告にならないよう) ・ドキュメンテーションなどで子どもの成長を可視化していく。 	0	5	2	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への発信はHPで週1~2回のペースで行うことができたが、その中に発達に即した環境作りや意図的なかかわりについても意識して多く書くようにしていくべきだった ・ドキュメンテーションはHPとの両立が難しかった。2歳児は簡単なものではあったが定期的に行っていた ・送迎時に育ちについて伝えることができた ・連絡帳や懇談会などで子ども達の発達や気づき、発達に応じた援助の仕方などを伝えることは出来ていた ・可視化が難しかった

学校関係者の意見

- ・ホームページで頻繁に発信していただける事は、他の園にはなかなか無い良いサービスだと思います。お迎えの時になかなか先生方とじっくりお話できない事が多い保護者にとって、ホームページ上で楽しそうに過ごしている子ども達の姿を見る事ができる機会を作ってくださっているのは、本当に有難いものです。更新頻度も高く、行事だけではなく日常生活を覗けるのも嬉しいです。ぜひこれからも続けてほしいです。
- ・ホームページは、いつも自分の子が写っていないなくてもほほえましく見ていましたのでとても良かったです。
- ・帰りに子どもの様子を話してくださるのは有難かったが、用意をしながらや子どもが気になってじっくり聞く事が出来ず申し訳ない気持ちでした。話していると子どもが遊びに行ってしまうのでその点は困っていました。
- ・子ども達が健やかに1年を過ごせた事が、一番の感謝です。
- ・毎日連絡帳を見るのが楽しみだった。送迎時にも報告をもらい新たな一面を発見できた。帰ってから保育園の様子を子どもと話したいのでいつもと違うことをした場合はホワイトボードなどに「公園に行きました」「絵具をしました」など書いてもらえると有難い。

評価項目		A	B	C	D	計	理由
5	<p>◎安全・防犯・防災について計画に沿った訓練を行い、さらに知識を得ることができたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯グッズの定期的確認、状況に応じた連絡方法と保護者への連絡の仕方などのマニュアルの共通理解 	0	7	0	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は定期的に行っていたが知識の共通理解という段階までは到達していない

学校関係者の意見

- ・定期的な訓練は行事予定でも確認していましたが、実際どのような訓練をされていたのか、実際に何か起こった時の具体的な対策等を見える化していただけると、保護者もより安心して預けられると思います。また、防犯グッズ等もどのようなものが園で準備されているのかを知る機会があればいいなとも思います。
- ・十分に取組まれている。